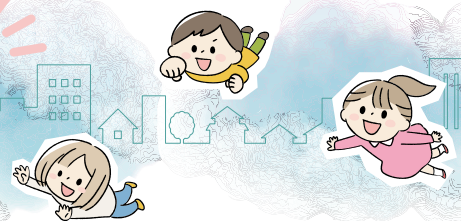




まちの話題



10月11日[Sat]

本のリサイクル



▲夢中になってお気に入りの本を探す来場者のみなさん

多久市立図書館で、利用後に除籍された資料や市民のみなさんから寄贈いただいた資料など、約2,500冊の本を無償で持ち帰ることができる「本のリサイクル」を中央公民館で開催しました。当日は、176人が来場され、会場には雑誌や小説、児童書、実用書などが豊富に並び、来場者は手に取りながら、お気に入りの本を探していました。

市立図書館の辻成美館長は「図書館で役目を終えた本が、新たな場所へ行き、誰かの心に寄り添い、心を動かす存在になってくれたら嬉しいです」と笑顔で話しました。



10月11日[Sat]

秋季釈菜に備えて多久聖廟を清掃



▲参加者のみなさんの協力によって聖廟周辺はきれいになりました

今年で13回目となる「多久聖廟周辺合同美化活動」(主催：一般社団法人多久市観光協会)が実施され、各町の区長会やボランティア団体、市民グループ、老人クラブ、多久高校など42団体、過去最多の約400人が参加しました。

開会式では、香月正則市長が「釈菜に来場された人を気持ちよく迎えることができるよう頑張しましょう」と挨拶されました。

参加した市民は「きれいになった多久聖廟へたくさんの人にお越しいただき、多久の魅力を知ってもらいたい」と笑顔で話されました。

10月16日[thu]

全国乳牛共進会に出場



▲大会への激励として古川さん(右)に目録を手渡す香月市長(左)

5年に1度開催の「乳牛の美人コンテスト」や「乳牛のオリンピック」と呼ばれる全日本ホルスタイン共進会が、10月25日(土)・26日(日)に北海道勇払郡安平町で開催されます。

今大会においては、佐賀県内の選考を経て、第1部「サイア娘牛の部門」において、多久市の古川大地さんが県代表としてホルスタイン牛を出品されることになりました。

香月市長は目録を手渡し「多久市として精一杯応援しています。良い結果を残せるようお願いしています」と激励の言葉を送りました。

